

ABC RADIO 9/2025

TIME TABLE

上方落語の
次代を担う
スターを

8 PULIS Presents

神戸新開地 喜楽館 AWARD
2025

あなたが選ぶ!



ABC RADIO 9/2025

TIME TABLE



インタビュー
伊藤史隆

ABCアサウシサト
神戸新開地・喜楽館支配人

8 PULIS Presents

神戸新開地 喜楽館 AWARD
2025

喜樂館 AWARD 2025

1か月を35日使っているような
スケジュールなんです

巡り合わせも運も

よかったです

おかげでA君のお仕事は40年以上現場でやらせていただいて、ずっとリスナーの皆様と直接接することができて幸せです、結局そうということが好きなんだと思いますね。落語も子供の頃から好きで、定年のタイミングで喜楽落語館からお声がけをいただいたて、もう一度密に落語と関わることが大きな喜びです（引き受ける）動機付けにもなったので巡り合わせも運も良かったと思います。



落語は大人の笑い。
人生経験を積めば積むほど、
大人になればなるほど楽しむる芸なんです。

桂二葉さんに言われた

「聴いていて怖いぐらいの

大会ですよね

チャンピオンになったら
喜楽館でどんどんお客さんを
引っ張っていったほしい

喜楽館AWARDは16・25年目の嬪さくらがエントリで入団、野球に例えるともそのすぐ期待されて入団したけれども上手いのかです。でもあと少しでレギュラーが取れそうなる人団4・5年目くらいは選手が、一番プレッシャーがかかっている。本当はすごい力があつた選手が出てくるチームってすごく強くなるんですよ。英語の16・25年目というのは東京の江戸落語では真打制度というのがある程度年齢を重ねてこの人が看板になつても大丈夫な年齢を重ねてこの人を「真打」と呼ばれ、認められた人を「真打」、いわゆる師匠と呼ばれる立場にするんです。大阪の上り落語にはその制度がないのでその年齢の方を対象にして、チャンピオンになつたら喜楽館でどんどん出演してお客さんをつらつらってほしいという願いを込めて設定しました。



喜楽館 AWARD は

壮大な「推し活」

お客さんも我々と同じく「落語好き」「ラジオ好き」でいらっしゃると思うんですね。今一番お客さんと呼ばれる落語家さんで70代以上じゃないですか、喜楽館AWARDは壮大な推し活なので、やっぱり次のスターが出てきてほしいんですよ。たとえスタップともっています。この囃家さんを応援しようという落語ファンの皆さんと一緒に



生放送で落語のコンテストをやるのが久しくなかったの、ベテランから若い噺家さんまでたくさんの方が番組を聴いてくださっていることに驚きました。今大人気の桂三葉さんはまだ、先方々に至らないので出場権がないんですけれど、15聖方の落語を生放送で聴いて「すごく緊張感が伝わってくるし、気迫も分かるし、お客様は空気も分かる、聴いていて怖いくらいのお会ですよね」と言って下さったんです。それはもうすごいです。嬉しかったです。今年3代目王者が出てきますけど、チャンピオンになった人たちがどこに行ってもリタイアになってお客様さんをたくさん呼べるという世界にしたいんです。初代の桂雀太さんとも2代目の桂ちよらば（現・米之助さん）も本当に素晴らしいチャンピオンで、今どきこんなに呼べるお客さんと呼べる方にならなくていいところあるの、お客さんの流れはどんどん大きいですよね。

落語は人生経験が多いほど
楽しめる”大人の笑い“

ラジオの仕事と寄席の支配人って交わらない仕事だと思ってるんですけど、似ている部分もあって、もちろん大きなことはできないけれど、リスナーの皆さんの傍で、一緒に頑張りたいよねと寄り添うことができる。実況アナウンサーとしては阪神タイガースや高校球児が頑張ってるかなんですけど、我々が「生懸命工夫して中継する」とことで聴いてる方に少しでも楽しんでもらいたかったらと思ってやっています。そのマインドは寄席の囃家さんとの向き合い方でも一緒かなという気がしていて、支配人ができることはほとんどないんですけど、客様に番組を作ったって落語の魅力を伝えてお客様に来ていただくことで、特に若い囃家さんが力をやっていることは一緒かなという気がします。

落語は若い方には取っ付き難い、大人の笑いだと思えます。大人というのはリアルな年齢の大人という意味ももちろんですけども、例えれば10代の方でもすごく精神的に成熟して大人っぽい人もいますよね。お笑いのM・グランプリで4分で、T・K・T・Kなんかに至ったら10秒程で笑いを取るわけですよ。ところが落語は10分、15分のネタがあつて、長いネタになると40分、1時間と

推し活をしようという意識がすごくあつて、金銭の大小ではなく応援したいと思って募金箱にお金を入れてくださる方が想像以上にたくさんいらっしゃったのはすごく嬉しかったです。

あなたが決める醍醐味を
ぜひ味わってほしい

生で観る次にラジオで聴くで生で観てこそ面白い。今まで落語に縁がなかったという方も来ていただいたら必ず良い落語をお見せできる自信がありますし、喜楽館AWARDをそのきっかけにしたいですし、昨今男女なんて言っている時代じゃないかないうすけど、女性の喧嘩さんもすて〜良い、喧嘩さんが出てきました。これまで2回ともファイナリストが全員男性でしたけど、この流れもそろそろ変わっていくような気がするし、今年新たに16人がエントリーしたかなとかユニークなところがエントリースてきてくれています。これまでは20年以上のキャリアのお二人が優勝されましたけど、下町上もあるか〜二人が決めるのはお客様のため、あなたが決める醍醐味をぜひ味わってください。



席亭
伊藤史隆

日曜落語
お茶屋

大御所から若手まで上方落語の最前線で活躍をしている噺家さんを幅広く取り上げ「なみはや亭」の公開録音や「上方落語をきく会」「喜楽館AWARD」で収録した落語の音源を中心に放送。

✉: namihaya@abc1008.com

上方落語の看板スターをあなたが選ぶ！
 アリス Agents
 喜樂館 AWARD
 2025
 優勝賞金もあなたの浄財で〇〇万円!?

午後6時開演(予定)
《ABCラジオで生放送》
※有料興行(詳細は後日発表)

入門16年目から25年目までの上方の落語家を対象に、喜楽館の観客とABCラジオのリスナーに「審査員」として直接参加していただくことで上方落語の次代を担う「看板スター」を選ぶコンテスト。初代王者は桂佳太さん、二代目は桂ちようば(現・米之助)さん。喜楽館に会場したお客様から募った浄財(寄付)を全額、優勝者に賞金として贈呈。これまで2年連続で100万円を上回る浄財が集まった。

專樂館 ACCESS

■神戸電鉄「湊川駅」より徒歩5分 同2回



公演情報など詳しくは喜楽館HPをチェック!

神戸に来たら活きの良い
新家さんがたくさんい

ということを伝える場に

神戸新聞地・喜楽館は2018年夏にオープンしたんですって、開館して一年半でカタがやっ
てきて、お客さんを入れてもう状況が続いて
しまつて…。このまいくと喜楽館が潰れてしま
うので手伝つてほしいと言われて（支配人）
呼ばれてました。神戸に遊びに来たら落語を楽し
んでくれる場にしたい、これから落語屋を担っ
てくれる本場に活力のある喫茶店が喜楽館
を引っ張つてくれているという小屋にしたいと
思つたんです。そうしたら人が見に来てくれる
と思つたんです。それは喜楽館の仲間も同じよ
に思つてくれていて、私がたまたま兼業でやる
ことになったのでABCラジオの仲間に提案



ある。そこでいふに、なつと軒余曲折を演出しようが
聞き終わる時にわんやわん曲折したくなんぞ
なんですよ。ね。人生経験の失敗や結婚生活の
なんですよ。ね。人生経験の失敗や結婚生活の
愚痴も、と言つと人の人生に死にまで笑ひに
惹くも、と言つと人の人生経験があるほかに
響く笑いがたくさんあって、人生経験を積めば
積むほど、大人になればなるほど楽しいもの
なんです。でもそれは今の流行りや新しいもの
よね。コスパタイパが求められる時代にちよつと
速いところにあるけれど、実はそれがものすく
速いのだというは皆さん、そこでも感じていて
思ふんです。ラジオリスナーの方もラジオを
聴いて想像しながら自分の生活の中に取入
れて楽しんでくださっているの、それに近い
かなという気はすこししますね。